

(様式 1)

令和 5 年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(気田小学校) 学校運営協議会長

< 本年度の目標 >

地元について理解を深めるためのより具体的な活動や地元の方々とのふれあい、日ごろの感謝を伝える活動を行う。

委員全員で意見を出し合い、教育活動の充実のために協議会の合議として意見をまとめることができるようにする。

< 評価項目 1 > 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

○学校長から学校運営の基本方針について丁寧な説明を受け、学校教育の目標や学習運営について理解を深めることができた。

○年齢・立場を越えた他の委員と様々な意見交換が行われ、学校運営の熟議ができた。

< 評価項目 2 > 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

○多くの体験学習が実施され、ふるさと春野に興味・関心を高める機会となり、地域の方と触れ合える場となった。

○様々な立場の委員が意見や情報を出し合いながら、子供たちが地域の方々と共に春野ならではの体験を通して、郷土の良さを感じてもらうきっかけづくりができたと思う。

○子供たちの活動をよりよくするために、その年の状況に応じて取り組み方を少しずつ変えていく必要があることなど、熟議を進めることができた。

< 評価項目 3 > 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

○コミスクだよりや学校ホームページ等によって、地域の皆様に情報発信ができていていると思う。

< 評価項目 4 > 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

コミスク関連行事に学校運営協議会委員が参加できる機会をつくって、児童との触れ合いをしていきたい。子供たちと触れ合って、今の子供たちがどのようなものに興味があるのか、この春野という中山間地での学校生活の中でどんなことを希望しているか、対話する時間を設けていきたい。

春野をもっと知ってもらうため、様々な分野(春野の力)の紹介や、伝えたい文化、人材の掘り起こしなどを検討していきたい。「コミスクだより」で活動を報告するだけでなく、子供たちの感想や言葉を載せて、感謝を伝える場にしていきたい。より多くの人達に学校を理解していただくために、よりよい情報発信の方法を協議していきたい。